

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えみのさと			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 10 月 1 日		～	令和 7 年 10 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和 7 年 10 月 15 日		～	令和 7 年 10 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和 7 年 10 月 15 日		～	令和 7 年 10 月 31 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 11 月 9 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後デイサービスを併用している児童が多く、学校等での様子も踏まえた支援の検討ができています。	社会に出た時を踏まえ、今の課題の共有や目標等を統一していけるように心がけている。	日常的に情報共有を行っていきたい。
2	送迎時や必要に応じた面談を通して、学校や保護者と直接情報共有を行う機会が確保できている。	必要に応じて面談や会議を実施しています。	学校や保護者の意向を踏まえた支援ができるよう心掛けていきたい。
3	電話連絡や随時面談が出来る体制があり、相談しやすい環境を整えている。	現在の相談体制を維持し、継続的な支援を行っていきたい。	現在の相談体制を今後も継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に関する外部研修が少ない。	研修があれば受講を促していく。	訪問支援や学校連携に関する研修情報を把握し、参加を促していく。
2	ガイドラインや訪問支援の目的について、説明が行き届いていないと感じる。	保護者面談や個別支援計画と合わせて説明を行っていききたい。	訪問支援の目的や役割について、保護者へ分かりやすく説明していく。
3	保護者や家族向けの研修会が行われていない。	実施方法やニーズの検討を行っていく	必要に応じて、検討していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 えみのさと

公表日 2026年 1月 9日

利用児童数

2人

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			1		必要に応じて検討していく。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					今後も継続していく。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					今後も継続していく。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2					今後も継続していく。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1		ガイドラインも同時に伝えていく。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					今後も継続していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					契約書に記載し、口頭での説明を行っている。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					今後も継続していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1			1		いつでも相談しやすい環境作りはしているが、家族参加の研修は実施出来ていない。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					今後も継続していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					今後も継続していく。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1			1		適切な助言と支援が行える様、努めています。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2					訪問時や面談や電話連絡で話し合いを行っていく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2					今後も継続していく。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					今後も継続していく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			1		今後も継続し、連携していく。
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					今後も継続していく。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2					今後も児童の意向も確認しながら、支援を行っていく。
	28	事業所の支援に満足していますか。	2					今後も継続し満足して頂ける支援を行っていく。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 1月 9日

えみのさと

利用児童数 2025年10月31日 回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			具体的で分かりやすく、支援に取り入れやすい助言が得られているとの意見がありました。	今後も支援場面を振り返りながら、実践につながる助言を行っていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			児童の特性に応じた支援方法の提案がありました。	引き続き、児童一人ひとりに応じた適切な支援の提供に努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			相談や質問に対し、適時・丁寧に対応してもらっています。	今後も相談しやすい体制を継続していきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			支援方法の整理や課題の明確化につながっています。	学校や家庭との連携を意識しながら、継続的な支援を行っていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			概ね満足しているとの評価がありました。	今後も支援内容の充実を図り、継続的な支援に努めます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none">・学校での様子を踏まえ、放課後等デイサービスでの支援方法を具体的に助言してもらえる点ありがたい。・教育的な視点からの支援方法を提案してもらえるため、相談しやすい。・保護者からの相談内容を共有し、支援の方向性を統一できている・が助かっている。・日頃から丁寧な対応に感謝している。					<ul style="list-style-type: none">・学校や関係機関との情報共有・連携を継続し、統一した支援を行っていきます。・児童が学校生活や集団活動でより適応しやすくなるよう、必要に応じて支援内容の見直しを行います。・今後も相談しやすい体制づくりを大切にし、継続的な支援の充実に努めていきます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
えみのさと		2026年 1月 9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	0	学校内で使用出来る物や提案は先生と相談しながら行っている。	今後も継続していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	適切である	継続していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	目標設定と振り返りを年2回を行う。日々の業務でもPDCAを意識して取り組む。	今後も継続していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	ミーティングで共有し話し合いを行っている。	支援の向上に努めていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	ミーティングで共有し話し合いを行っている。	情報伝達の漏れがないように、徹底していく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	外部評価は行っていない。	必要に応じて、実施を検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	研修への参加を促している。	継続していく。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	子どもの意向をよく確認しながら、適切に作成している。	今後も継続していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	職員モニタリングや原案作成時に話し合いを行っている。	今後も継続していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	意向を盛り込んでいる。	今後も継続していく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	会議にて共有されている。	今後も継続していく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	アセスメントや検査資料ももとに、確認を行った。	適切なアセスメントに努めていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	可能な限り具体的な支援内容を設定している。	今後も継続していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	職員モニタリングや原案作成時に話し合い、共有を行っている。	今後も継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	開始前や訪問の日程が決まった時点で保護者の意向や担任の先生の意向を取り入れながら役割を決めている。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	終了後の振り返りを行っている。	今後も継続していく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	尊重して意見を伺ってから、こちらの意向も伝えている。	今後も継続していく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	報告書を作成し、改善に繋げている。	今後も継続していく。

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	年2回、モニタリングの実施と、必要に応じて随時変更している。	要望があった際は迅速に対応出来る様心掛けていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	管理者が参加している。	可能な限り職員の参加を促していく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	必要に応じて連携を行っている。	今後も継続していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	出来ている学校と出来ていない学校がある。	可能な限り行っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0	可能な限り外部研修への参加の受講を促している。	今後も受講を促していく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	2	会議に参加出来ていない。	機会があれば検討していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	共通理解が出来るように努めている。	今後も継続していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	いつでも相談にのれる環境ではあるが、研修は行っていない。	必要に応じて、検討していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	契約書に記載し、口頭での説明を行っている。	今後も継続していく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	説明を行っている。	今後も継続していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	面談と普段の会話の中でも、聞き取りを行っている。	今後も継続していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	児発管より説明を行い、実施している。	今後も継続していく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0	行っている。	今後も適切な助言が出来るように努めていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	2	今のところ行っていない。	実施は出来ていないが、要望があれば検討していきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	迅速な対応を心掛けている。	今後も継続していく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0	毎月会報誌を発行している。	今後も継続していく。
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	留意している。	今後も気を付けていく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	配慮している。	今後も継続していく。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	可能な限りの助言を行っている。	適切な助言が行える様努めていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	学期毎に振り返りの会議を行っている。	今後も継続していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	報告書を作成し共有している。	今後も継続していく。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	留意している。	今後も継続していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	信頼関係が築ける様努めている。	今後も継続していく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	実施している	今後も継続していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	行っている。	今後も継続していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	ミーティングにて共有し、再発防止に努めている。	今後も継続していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	研修や勉強会を行い、可能な限り参加を促している。	今後も継続していく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	研修を受けたり、ミーティングにて口頭で説明したりしている。	今後も継続していく。